

日本の外交の行き詰まり

—伝統的な憲法解釈の問題点から—

令和の日本外交は、米中経済戦争への対応で、いきなり真価を問われる事態になっています。今回は、平和構築学がご専門で国際政治学者の篠田英朗先生をお迎えし、日本外交の行き詰まりと伝統的な憲法解釈の問題点について、ご講演いただきます。大阪で開催されるG20サミットに合わせ、現代の国際社会の動向の歴史的・構造的な理解に基づく、現在の日本外交の真の姿を知る絶好の機会になると思います。

日時

2019年

6月28日(金)

13:00-14:30

会場

関西大学梅田キャンパス
8階大ホール“KANDAI Me RISEホール”
〒530-0014
大阪府大阪市北区鶴野町1番5号
TEL:06-4256-6410

講師

東京外国語大学
総合国際学研究院 教授
篠田 英朗



(プロフィール)

早稲田大学政治経済学部卒業。ロンドン大学(LSE)で国際関係学Ph.D.取得。広島大学平和科学研究センター准教授などを経て、現職。著書に『平和構築入門』(ちくま新書)、『集团的自衛権の思想史』(風行社、読売・吉野作造賞受賞)、『平和構築と法の支配』(創文社、大佛次郎論壇賞受賞)、『「国家主権」という思想』(勁草書房、サントリー学芸賞受賞)、『ほんとうの憲法』(ちくま新書)など多数。

お問い合わせ



関西大学

関西大学
研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
TEL:06-6368-1179 FAX:06-6339-7721
E-mail: keiseiken@ml.kandai.jp